

# 資料1

## 保有資産の管理・運用等に関する国立公文書館の取組状況

平成22年7月27日  
独立行政法人 国立公文書館

### 1. 保有資産等の概況

	本館	つくば分館	アジ歴
所在地	東京都千代田区北の丸公園3-2	茨城県つくば市上沢6-6	東京都千代田区平河町2-1-2 住友半蔵ビル別館4F
建物保有形態	保有	保有	賃借
敷地保有形態	無償使用(北の丸公園内国有地)	保有	
敷地面積(m <sup>2</sup> )	4,000	25,000	(541)
建面積(m <sup>2</sup> )	818	4,425	(476)
延面積(m <sup>2</sup> )	7,700	11,512	(3,244)
借上面積(m <sup>2</sup> )	—	—	368
建築年次	1971年	1998年	2001年(借上開始年)
階層	地上4階・地下2階	地上3階	—
施設用途	事務室、書庫、展示、閲覧	事務室、書庫、展示、閲覧	事務室(閲覧等機能を含む)
B/S価格(百万円)			
土地	0	900	(33/年)(賃借)
建物	593	3,323	
展示施設利用者数(人)	18,865(19年度)、14,349(20年度)、 19,886(21年度)	2,525(19年度)、3,139(20年度)、 2,845(21年度)	—
宿舎、宿泊施設の保有状況、保有資産の減損等	該当無し	該当無し	該当無し
運用金融資産、知財等	該当無し	該当無し	該当無し

### 2. 保有資産の管理・運用等の状況

政独委の評価の視点・留意事項等(ポイント)	館(本館・分館・アジ歴)における管理・運用等の状況
○ 建物、構築物、土地等について、 ・ 法人の設置目的等との整合性、有効性等 ・ 資産規模の適切性 ・ 立地の必要性 ・ 資産の利用度等 ・ 経済合理性 ・ 活用状況等	いづれの施設も、役職員が執務用の事務所として年間を通じて使用・活用している。 また、展示機能については、常設展示、特別展示等を通じて、平日は毎日(本館は、特別展示期間中土日も開館)無料で広く国民の利用に供している。 さらに、利用者への閲覧サービスを行うため、閲覧室(閲覧スペース)を整備してその利用に供し、検索、閲覧、レファレンス等の利便の向上に努めている。 書庫については、国立公文書館が担うべき基本的な役割のひとつである公文書等の受入・保存に当たっての根幹的な機能であり、十分に利・活用されている。公文書管理法の施行に伴い、受入公文書等の一層の増加が見込まれる中にあって、書庫の将来的なスペース確保にも配意していく必要がある。 さらに、益々進展する電子・通信技術の発展や利用環境の多面的な展開を考慮したデジタルアーカイブ・システム、ウェブシステムの充実のため、運用サーバー等の設置スペースとしても活用している。  以上のようにいづれの施設・資産も、国立公文書館が担う歴史公文書等の移管、受入、保存、閲覧・展示等を含む利用機能、教育、普及啓発等各般の機能の十全な発揮のために必要不可欠な資産として最大限に利・活用していることから、設置目的等に照らして十分に整合的であり、有効に機能しているものと考えている。また、資産規模は、これらの目的に伴う事業執行に当たって過大なものとは考えられず、適切性、経済的合理性の観点からも十分に説得的なものとなっていると認識している。 さらに、利用者の利便、主務官庁との連絡、行政機関との連絡・公文書の受入れ、類縁機関との連携等を考慮した場合、その立地について業務上の必要性から適切かつ妥当なものと考えている。 なお、財務省の平成22年度予算執行調査の結果を踏まえ、アジ歴について、賃料の節減等の観点からその事務所の在り方等について検証を行うこととしている。